



発行日 平成26年9月 第79号

日頃、地域医療連携にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

先日、がん地域連携パス協議会が開催され、連携パスの運用状況や今後の課題について協議を行いました。

今回は、がん連携パス協議会の一部をご報告いたします。

地域医療連携室 大沢 知佳

## 第4回 がん地域連携パス協議会を開催して

日時：平成26年9月12日（金）18:30～19:30

場所：横手シャイニーパレス 5F

出席者：横手市医師副会長、理事、横手保健所健康・予防課主任、横手市地域包括支援センター保健師、平鹿総合病院関係者13名 計17名

目的：がん地域連携パスの推進と連携の円滑化

報告事項：1. がん地域連携パスの運用状況について

2. バリアンスの発生状況について

3. がん地域連携パスの運用に関するアンケート結果について

### がん連携パスの運用状況

平成24年8月8日～26年8月31日迄、計12件のパスを運用し、バリアンスは平成25年度に1件、平成26年度に4件、計5件発生している。現在、7名が運用を継続している。

#### 平成25年度

- ・パスの種類：胃がん 4名 大腸がん 1名
- ・化学療法の実施：なし
- ・患者の平均年齢：72.4歳
- ・連携医  
阿部 道浩 先生 亀谷 武彦 先生 山崎 幸雄 先生  
小田嶋 傑 先生 久保 信之 先生

#### 平成26年度（8月31日現在）

- ・パスの種類：胃がん 1名
- ・化学療法の実施：なし
- ・患者年齢：68歳
- ・連携医：高橋 廣己 先生



### バリアンスの状況(平成25年4月～平成26年8月)

- ・発生件数：胃がん4件 大腸がん1件
- ・要因：再発2件(胃がん1件、大腸がん1件)
- ・患者の通院先の変更希望3件

### アンケート結果

調査目的：がん連携パスの運用上の課題を明らかにする

調査期間：平成25年11月～平成26年4月（パス開始6か月後に実施）

調査対象：平成25年度にがん連携パスを運用した患者5名

#### 調査結果

Q1. 「がん地域医療連携パス」の診療内容について 知っている 5名

Q2. 当院とかかりつけ医の連携について よい 5名 どちらともいえない 1名

- |    |            |    |            |    |
|----|------------|----|------------|----|
| 理由 | ・安心できる     | 3名 | ・通院時間が短縮する | 2名 |
|    | ・待ち時間が短縮する | 3名 | ・病院でないと不安  | 1名 |

Q3. 「私のカルテ」の活用について 受診時に持参する 4名 記載内容を見る 3名